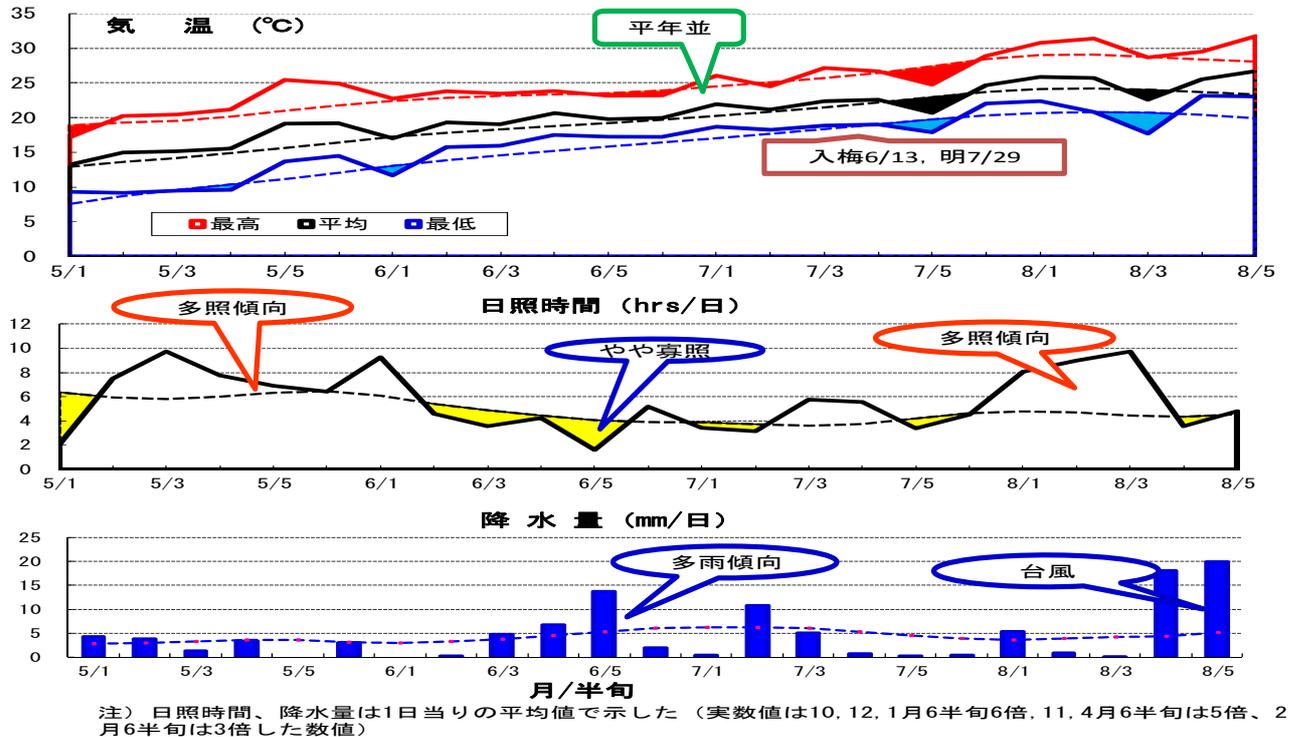


～～概ね順調で茎長は並・莢伸長期, 病害虫防除の徹底を～～

1 気象経過



- ・7月～8月までの気温は、ほぼ平年並み～やや高く、7月下旬と8月中旬が一時低めに経過した。
- ・日照時間は、6月がやや寡照であったが、7月～8月は並～多照であった。
- ・降水量は、6月入梅以降は断続的に降雨があったが、梅雨明け後8月下旬まで少雨であった。
- ・7月下旬の日平均気温が平年よりやや低かったものの、8月を含めて1℃～1.5℃程高かった。

2 生育状況

〔8月10日の生育状況〕 (古川農業試験場 試験圃)

- ・茎長は、標播で概ね平年並み～長く、前年より長く、晩播では短めであった。
- ・主茎節数は、平年及び前年よりやや少なかった。
- ・分枝数は、標播及び晩播ともやや多かったが、総節数は少なかった。
- ・8月2日の短時間で強い降雨(15.5mm/時)等のため、なびき倒伏が見られた。
- ・ミヤギシロメは全体的に蔓化している。
- ・開花期は概ね平年並みである。

紫斑粒



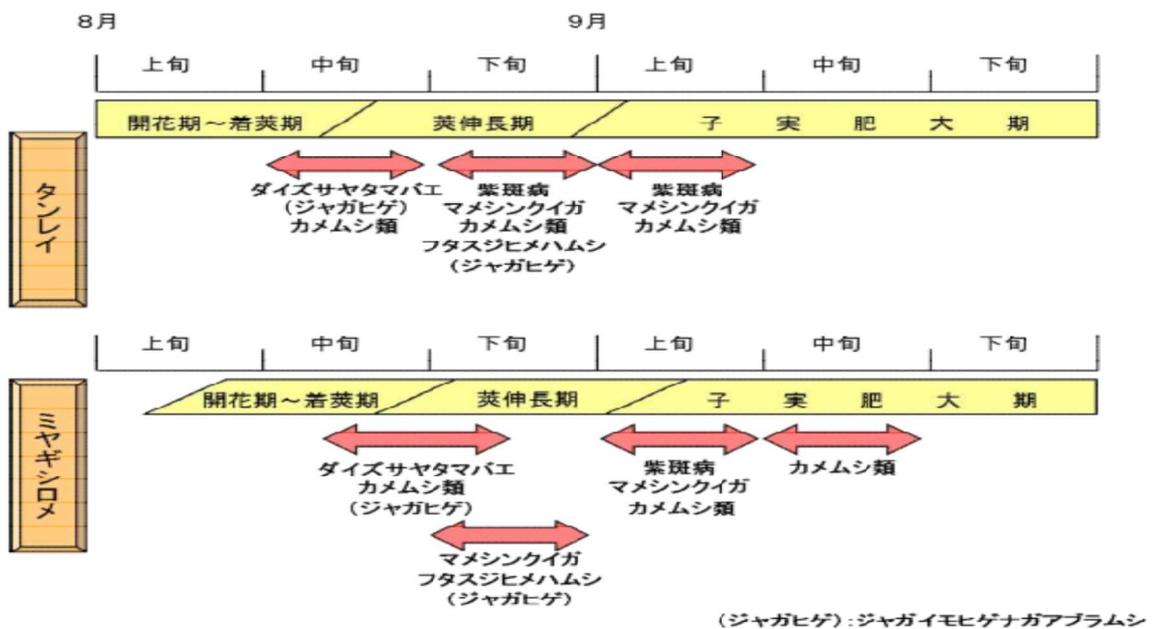
8月10日付け生育調査結果

播種期	品種名	開花期 (月/日)	主茎長 (cm)	主茎節数 (節/本)	分枝数 (本/本)	総節数 (節/本)	茎径 (mm)	
標播 (5/24)	タンレイ	本年値	7/25	81.1	15.5	4.3	40.7	10.7
		前年差	1日遅	+7.4	-0.4	+0.5	-2.7	+0.2
		平年差	1日早	-1.5	-0.9	+0.5	-3.2	+0.5
	あやこがね	本年値	7/26	90.5	16.5	4.0	42.8	10.8
		前年差	1日遅	+4.3	-0.9	+0.7	-3.9	-1.4
		平年差	同日	+0.1	-1.2	+0.6	-0.1	+0.4
	タチナガハ	本年値	7/26	92.7	17.3	4.8	49.1	10.4
		前年差	同日	+15.8	+0.8	+1.2	+7.5	-1.2
		平年差	—	—	—	—	—	—
ミヤギシロメ	本年値	8/1	111.8	18.2	4.0	45.1	10.6	
	前年差	同日	+15.4	-0.5	+0.4	-2.6	-1.6	
	平年差	1日早	+2.2	-0.4	-0.2	-2.8	-0.8	
晩播 (7/4)	タンレイ	本年値	8/13	40.9	8.9	1.5	13.3	5.9
		前年差	3日遅	-7.7	-1.4	+0.5	-0.8	-0.1
		平年差	2日遅	-5.1	-0.8	+0.6	+0.7	+0.3
	あやこがね	本年値	8/14	38.9	9.8	1.3	13.4	5.5
		前年差	4日遅	-11.2	-0.9	+0.8	+0.8	-0.4
		平年差	2日遅	-5.2	+0.1	+0.6	+1.3	-0.4

(1) 病害虫防除

- ・ 害虫の防除適期は、莢伸長期なのでタイミングを逃さず防除する。
- ・ 紫斑病防除のタイミングは開花後 20~35 日位である。
- ・ 紫斑病抵抗性「中」のあやこがねとタンレイは、1 回目 7~10 日後に 2 回目の防除を行う。
- ・ 同一薬剤の連用は耐性菌が発生しやすいので避ける。特にアミスター(ストロヒルリン系)は注意

【病害虫防除体系】



(2) 排水対策

- ・ 莢肥大期や収穫時期の台風や大雨に備え、圃場周辺の明渠再整備や暗渠の状況を確認する。
- ・ 排水不良の圃場では、莢先熟や黒根ぐされ等の立ち枯れ症状になる場合がある。